

# 市長から 市民のみなさんへ



山陽小野田市長 白井 博文

## 14 「市政説明会がはじまりました」と 「2005年を振り返って」について

### 市政説明会がはじまりました

11月27日、須恵公民館で第1回目の「市政説明会」を開催したところ、たくさんの方にお集まりいただきました。お忙しい中、ご参加いただきありがとうございます。

今回、説明会を開催した目的の一つに、深刻な財政状況をお伝えすることがあります。「山陽小野田市の財政は火の車らしい」という話を多くの方が耳にされていると思うのですが、果たしてどれほど大変な状況なのか、市民生活にどのような影響があるのかなど、きちんと説明責任を果たすのが市長の責務と考え、「市政説明会」の開催を決意したわけですが、須恵公民館では、メモを取りながら私の話に耳を傾ける方もいらして、この問題についての関心の高さを実感しました。ただ、平成18年度予算編成作業の最中であるため、その危機を乗り切る方策については、具体的にお話できなかった点を申し訳なく思いました。しかし、専門用語が多く、とかくわかりづらいと言われる市の財政について、論点を絞り、何が問題なのか、なぜこのような事態に至ったのか、その要因を含めて、わかりやすくお伝えするように努めたつもりです。また、暗い話題ばかりではなく、私が市長になってから取り組んできた課題や、私なりに描いている「山陽小野田市」の未来の“設計図”についてもお話しさせていただきました。約2時間、本当に多くの方に熱心に聞いていただき、私の想いがみなさんの心に届いたと実感できたことをうれしく思います。5月まで、市内全校区をまわりますので、お近くの会場で開催される際には、ぜひ、足を運んでいただきたいと思います。

先ほども触れましたが、18年度予算の目途がたつ2月には、財政危機を打開する具体案がまとまります。それ以降の市政説明会においては、市民生活に実際に与える影響などについても、つつみ隠さずお伝えするつもりです。11月～1月の説明会にご参加された方も、ご都合がつくようでしたら、再度、お越しいただくことを希望します。

### 2005年は“協”の一年でした

早いもので、今年もあと二週間足らずとなりました。私自身、今年の年はじめには全く想像のできない激動の2005年となりましたが、「まさに息つく間もなくあっという間に駆け抜けた一年だったなあ」と感じていると

ころです。

市長に就任した4月以降、私は自分の信念である「市民参加による市民本位のまちづくり」「公平、公正、公明正大」に基づいて行動し、結果的に、今までの業務の流れにストップをかけるようなことも行いました。市の職員にとっては、今までの自分たちがやってきたこととは、違った行政イメージを持った市長が就任し、戸惑いが生まれるのは当然のことだったかもしれません。しかし、私の想い、意図するところを少しずつ職員も理解してくれるようになり、私も職員からアドバイスを受け、行政の基礎知識を学んでいくことができました。手法は変われど、「よりよいまちをつくっていききたい」という根底のところは共通の心根をもっていたからだと思います。最初は、“大海の中の米粒”のような違和感があった市役所が、今では安心して暮らせるもう一つのわが家のような存在になっています。

また、「市の名称アンケート」「バス路線アンケート」「市章の投票」など、多くの市民の方のご協力をいただきました。改めてここに感謝したいと思います。「対話の日」などにも多くの方にご参加いただき、とても有意義な時間を過ごすことができました。また、市民が胸の中に秘めているエネルギーを活用しようと試みた「まちづくり市民会議」では、良識ある市民のみなさんから良識ある提言をいただくことができました。まだ道半ばですが、この「山陽小野田」の地に“市民パワー”がはっきりと目に見える形で姿を現した記念すべき年だったとも言えるかもしれません。

振り返ってみると、本当に多くの方の力に支えられて、がんばってこられた一年でした。そういった意味で、今年を象徴する一字をあえて選ぶとするなら、たくさんの方がまとまった結果、有形無形の多くのものが生まれたということで“協”を選びたいと思います。

来年は、厳しい現実が待ち受けていることでしょう。“あれもしたい、これもしたい”と想いは多々ありますが、そのほとんどが先送りになり、市民のみなさんの夢を叶えていくことは難しいかもしれません。しかし、大きな困難を乗り越えた後の明るい未来を信じて、希望だけは決して失わず、一生懸命、山陽小野田のまちづくりに奮闘する決意に変わりはありません。

みなさんにとって、2006年が素晴らしい年でありますよう祈念します。よいお年をお迎えください。



**1・2月の  
対話の日**

1月26日(木) 津布田会館  
2月23日(木) 赤崎福祉会館

※19:00から 1時間30分程度です